

令和元年度日山協山岳共済会事業報告

1. 総括

令和元年度の山岳共済会加入者は、53,016人（前年対比1,902人減、96.53%）。過去2年が99.62%（2017年）、98.68%（2018年）なので、減少傾向が止まらない。

特に今年度は、4月1日始期の加入者が41,178人で、前年比（174人減）となった。一方、団体加入者減の事由として、山岳会の解散や山岳会事務局が個人加入への切り替えを勧める傾向がある。その結果、加入手続き忘れに繋がって、継続加入者減になっている。

Web加入者は、1,437人（前年対比133人減）で、全体の上乗せにはなっていない。口座振替5,533件で、前年より微増。

トレラン保険の加入者は、561人（前年比194人増）。クライミング保険の加入者は、172人。チラシの効果は、未だ表れていない。

総保険料収入に対する総保険金支払い割合の損害率は、36.14%と前年比で1.44ポイント下がった。（2018年度実績の修正保険金合計は329,177,285円で、修正保険料合計は910,747,080円、損害率36.14%）

令和2年度は、団体割引率30%、大口契約割引率10%、優良割引率15%で、 $1 \times (1 - 30\%) \times (1 - 10\%) \times (1 - 15\%) = 53.55\%$ （▲46.45%引）となる。（※平成28年度割引率合計は52%、29年度は50%、30年度46%、31年度46%、令和2年度46%）

2. 共済会加入者数（令和2年3月31日現在）

53,016人（前年比1,902人減）

（内訳）

<u>個人加入</u>	<u>35,162人（前年比666人減）</u>
	登山：11,336人（前年比158人減）
	ハイキング：23,826人（前年比508人減）
<u>団体加入</u>	<u>17,780人（前年比1,217人減）</u>
	登山：9,697人（前年比690人減）
	ハイキング：8,083人（前年比527人減）

※共済会のみ加入者 74人（前年比19人減）

共済会費収入：50,281,000円（前年比1,756,000円減）

郵便振替手数料：4,028,080円（32,373件、前年比2,138件減）

口座振替手数料：339,973円（5,533件、前年比269件増）

クレジット決済手数料：313,628円（1,458件、前年比112件減）

損害率（平成28年9月～平成30年8月）36.14%（前年実績34.70%）

優良割引率：15%（令和2年度適用）

3. 共済会事業

ア 共済事業に対する交付

交付申請：28件（前年比1件減）

イ 疾病死亡弔慰見舞金の交付

交付申請：2件

ウ 位置探知器「ヒトココ」のレンタルサービス（リース終了）

貸出：6件（前年比5件減）

エ 会員制の検索ヘリサービス「ココヘリ」の加入推奨

オ アヴァランチ・トランシーバーの貸出し（下記の7件）

（一社）岩手県山岳・SC協会（三ツ石山、12/7～8）、山梨県山岳連盟・白鳳会（穂坂自然公園、1/12）、秋田県高体連登山専門部顧問冬山講習会（秋田駒ヶ岳、2/8～10）、相模原山岳協会（麻溝公園、3/1）、岩手県北上地区山岳遭難防止対策委員会冬山遭難救助訓練（夏油高原スキー場、3/1）、神奈川県山岳連盟遭難対策委員会雪崩講習会（土合山の家、3/1）、富山県山岳連盟積雪期レスキュー講習会（休暇村乗鞍高原、3/14～15）

カ 海外登山保険について

低廉な保険料で海外登山保険に加入できる、この特典は令和2年度も人気が高く、以下の申込があった。残念ながら保険金支払いが保険料を上回った。

申込件数 228件（申込者数 276名）合計保険料 3,962,210円

保険金支払金額

救援者費用 3件（3,261,729円）

治療費 4件（718,073円）

対物賠償 1件（43,676円）

合計支払金額 4,023,478円

4. 営業推進事業

ア 加入促進対策について

①各岳連（協会）への登山振興費還付（保険事務手数料還付金）について

令和元年度の還付総額は、7,116,668円。（ベストスリーは、東京約77万円、神奈川約55万円、埼玉約53万円。）

各岳連（協会）には、是非、共済会担当者を決めて頂き、岳連（協会）の講習会等で、参加者に共済会への加入を押し進めて頂きたい。加入者が多くなれば還付金も増え、財源が豊かになる。

②令和元年度は、共済会業務委託料4,000万円の他に新規事業費として450万円をJMSCAに支払ったが、残念ながら加入者増には結び付かなかった。代理店からの広告料240万円を合わせると4690万円もJMSCAに支払っている。これが外向けに広告が打てない足枷になっている。

③前年度未加入者への案内再送付は、4,827通発送して718名が再加入（再加入率14.9%）。再加入率が良いので引き続き継続する。

④スポーツクライミング保険、トレラン保険のチラシを作成して配布。

上期に北丹沢山岳センター関連の7大会及び上州武尊山スカイビュートレイル大会等でチラシを配布。北海道、東京、群馬岳連にも協力依頼した。

3月には、トレラン保険チラシ3万部、クライミング保険チラシ1万部を作成。トレラン保険チラシは、10大会本部に12,300部配送。然し、配送した途端、コロナ禍により各トレラン大会が相次いで中止となった。

⑤HPのリンク

（一財）日本トレイルランニング協会、(NPO)北丹沢山岳センターへのリンク。

⑥『岳人』バーター広告掲出

引き続きバーター広告を掲出。（『岳人』2019年4月号から2020年3月号）

⑦高体連登山専門部『登山部報』、インターハイ登山大会プログラム、HAT-J機関誌等への広告出稿。

毎日新聞旅行のカタログ『世界の山旅・日本の山旅』への広告出稿と山岳共済会葉の混

載発送（6月15,900部、2月15,000部）

⑧山岳保険の告知として「ヤマテン」、「ヤマレコ」等へバナー掲出（継続）

⑨タウンニュースへの広告出稿（茅ヶ崎市エリア）

⑩優待施設提携について

新規2件獲得。ペンションいぶき（滋賀県）、孀恋の宿あいさい（群馬県）

イ その他

①共済委員会の開催

5/23（水）、7/24（水）、8/26（月）、9/19（木）、12/10（火）、1/29（水）、
3/24（火）

②2019年10月1日からの保険料率改定について

団体総合生活補償保険（標準型）から団体総合生活補償保険（MS&AD型）への切替。
これによって職種級別なし、特別ラインアップの追加が可能になった。唯、MS&AD型
への切替や死亡保険金の調整をしても保険料は約10%の値上がりとなるので、補償内容
と保険料を調整して、令和2年度の山岳保険を提供した。

③山岳共済会の令和2年度用葉の見直し・デザインの検討・制作・発送

④令和2年度「山岳保険」案内の内容検討・制作

⑤山岳共済会のマスコットについて

令和2年1月7日付で商標登録完了（登録第6212760号）

商品及び役務の区分：第18類（ザック、袋、ストック等）、第25類（ヤッケ、手
袋、靴等）、第36類（生命保険等に関するもの）

⑥減遭難キャンペーン、音声入り動画アニメ「そうよ そうなの 遭難よ！」の拡散。

●各都道府県岳連（協会）及び要望のあった県警本部へDVDを発送。

●ADMATRIX DSPレポート（2019年11月配信期間）

表示回数：4,842,821、クリック数5,067、クリック率(CTR)：0.10%

年代別では、30代、40代、50代が0.11~0.12%、デバイスではPC,SPが0.11~0.10%
配信した結果、30代~50代、特に50代に反応が良かったことが分かった。

●Webサイトの「Yama haku」、『山と溪谷』2020年2月号の「やまびこ」欄、朝日
新聞（2020年3月13日付）等で紹介された。

●Google Displayによるスマホへの広告媒体配信による市場調査を行った。